

矢祭第六期「矢祭子ども司書」講座を

修了した君達へ

みなさん、おめでとう！

この一年、十五コマもある「矢祭子ども司書」の講座を、しっかりと受けたのですね。

学校の授業や部活や行事だけでも、休まないで全部出ることには大変なのに、自分からすすんでこの「矢祭子ども司書」講座にチャレンジした勇氣にまず拍手を送りたいと思います。

講座を終えたみなさんの感想文を読むと、本のカバーかけが楽しかったという人、手づくり絵本コンクールが楽しかったという人、読み語り面白かったという人、図書館実習がためになったという人など、特に印象に残った講座は人によって違うようですが、それでいいのです。大切なことは、楽しみながら学んだことは、いつまでも心に残って、心の成長の種になっていくということです。

みなさんは、きつと以前より本に親しみを感じるようになったことでしょうか。読もうとする本の選び方も、上手になったことでしょうか。本が好きになることは、大人になってから心を豊かに生きていくための心の習慣を身につけたのだと言うことができます。

さあ、今日の子ども司書認定式を終えて、あなたは一番にどんな本を選んで読みますか。今度はあなたが図書館を利用する立場になるわけですが、借りるとき、講座で学んだことを思い返してください。そうすると、借りて読む本に対して、少し違う愛着の心が湧いてきて、これまで以上に読書を楽しめるようになるでしょう。みなさんの一層の成長を期待しています。

平成二十七年三月一日

作家 柳田 邦男